

首里高校内中城御殿跡

- 発掘調査について -

沖縄県立埋蔵文化財センター
羽方 誠 亀島 慎吾

沖縄県考古学会定例会
平成 26 年 8 月 15 日 (金)
沖縄県立埋蔵文化財センター
研修室

1 はじめに

調査経緯: 首里高校校舎の老朽化のため、新校舎建築に伴う記録保存調査。

事業主体: 沖縄県立埋蔵文化財センター、(株)アーキジオ (支援業務委託)
平成 25 年 7 月末 本調査着手

平成 23 年度に那覇市教育委員会によって試掘が行われた。同年、沖縄県教育庁文化財課によってグラウンド造成土の掘削が行われた。

2 中城御殿について

中城御殿: 次期国王の世子の居宅

新旧の中城御殿

1621 年～1641 年創建 首里高校内中城御殿跡

1875 年 (明治 8 年) 移転 中城御殿跡 (旧県立博物館跡地)

3 首里高校内中城御殿跡

基本層序: 大きく 3 つの文化層・遺構がある。

- (1) 中城御殿 移転後 (近・現代)
- (2) 中城御殿 (近世)
- (3) 中城御殿 創建以前 (グスク時代 15c～16c)

中城御殿 移転後の遺構

校舎基礎跡、ゴミ捨て場跡、庭の池跡など

中城御殿の遺構

平場造成跡、水場遺構、建物跡、建物区画の石積み、一括廃棄遺物など
大規模な平場造成を行い、建物を構築。(建物跡に関連する遺構は少ない。)
全体を平地にするのではなく、段を形成している。

中城御殿 創建以前の遺構

柱穴、廃棄土坑など

グスク時代の造成土を確認。この層から柱穴の掘込がある。
グスク時代の造成土の上に中城御殿の造成を行っている。

4 出土遺物

近代～15世紀ごろまでの遺物が出土している。近世期の遺物が最も多い。

(1) 中城御殿 移転後

硯やボタンなど、首里高校関係の遺物が出土。

(2) 中城御殿

瓦、陶磁器、金属製品、玉、自然遺物など多種多様なものが出土。

(3) 中城御殿 創建以前

陶磁器（青磁、中国産褐釉陶器、タイ産褐釉陶器が多い。）、金属製品、自然遺物などが出土。

5 普及活動（現場説明会、職場体験）

平成 25 年度

一般県民対象現場説明会、首里高校生対象の現場説明会（社会科授業の中で取り組み）、首里高校関係者に対して行った。

県内中・高校生の職場体験受け入れを行った。

平成 26 年度

県内中・高校生の職場体験受け入れを行った。

首里高校生対象の現場説明会を7月に行った。（社会科授業）

一般県民対象現場説明会の実施を予定している。

6 調査成果と課題

- 近・現代からグスク時代までの遺物や遺構を検出している複合遺跡。
- 傾斜している地形を、造成で平地形成し、遺構を構築。
- 中城御殿の建物区画関連遺構は多いが、建物本体の遺構（礎石など）が少ない。
- 多種多様な遺物が出土。（特に中城御殿当時のものが多い。）
- 中城御殿当時や創建以前の遺物が、包含層や遺構でまとまって出土している。今後これらの遺物組成を整理していく。
- 創建以前から中城御殿創建までの状況が判明しつつある。
- 移転後の中城御殿との比較検討も今後の課題である。

調査協力助言・謝辞（五十音順（氏名のみ）、敬称略）

（沖縄県立埋蔵文化財センター、教育庁文化財課、㈱アーキジオを代表して）
天久朝海 新垣力 大堀皓平 神村智子 金城亀信 金城貴子 具志堅清大
幸地千明 島袋洋 杉山千曜 瀬戸哲也 玉城美香 田場直樹 知念隆博
仲座久宜 長嶺均 中山晋 保久盛陽 宮城淳一 宮里知恵 本村麻里衣
盛本勲 山本正昭

首里高校 那覇市教育委員会 県内各市町村教育委員会

上記の他にも、様々な方々から調査現場において助言をいただいております。

参考にさせていただき、調査を進めたいと思います。

ここに記して感謝申し上げます。